

都市再生整備計画 事後評価シート

大町中央地区

平成29年3月

長野県 大町市

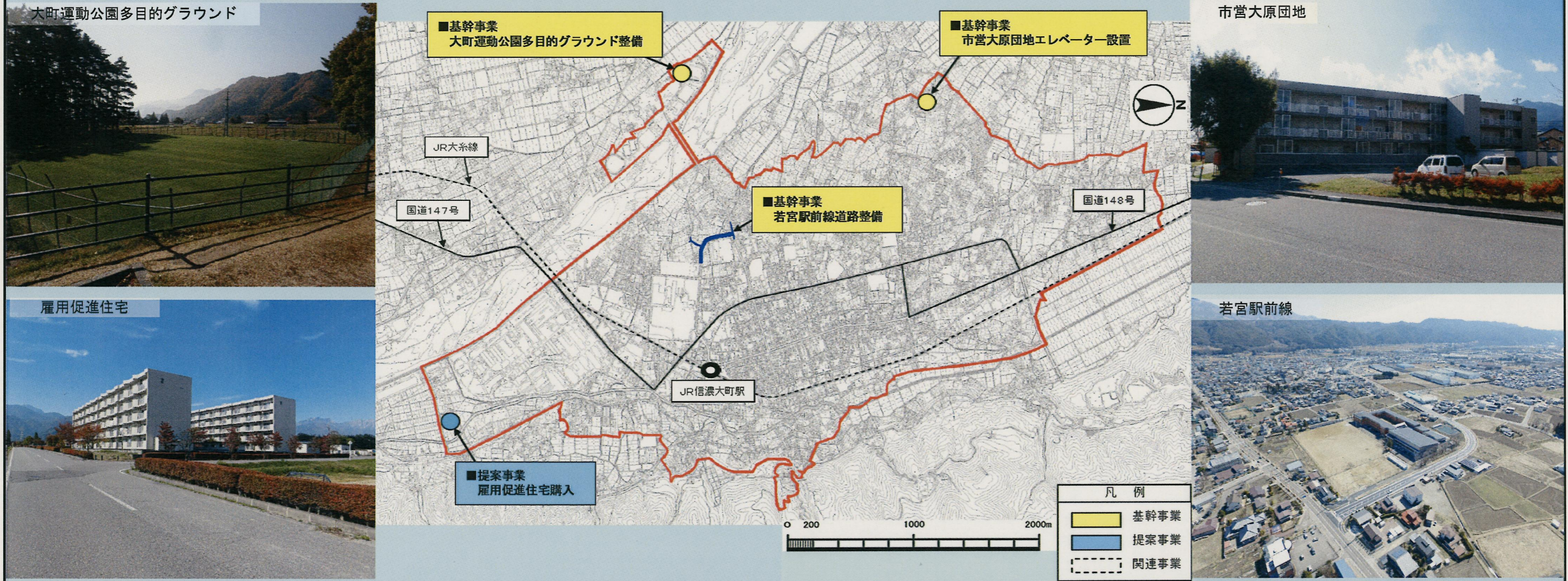
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	大田市	地区名	大町中央地区			面積	872ha			
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	511.7百万円	国費率	0.400					
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】若宮駅前線、【公園】大町運動公園、【公営住宅整備等】市営大原団地									
		提案事業	【地域創造支援事業】雇用促進住宅購入									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
	その他、変更した事業	基幹事業	【公営住宅等整備】市営上一団地、【公営住宅等整備】市営借馬団地	公的住宅の住環境改善及び公共水域の水質保全のため、左記の市営住宅の下水道排水設備整備事業を平成24年10月23日付第1回計画変更により追加したが、その後併設する県営住宅との一元化による管理・運営手法の効率化について関係機関との協議が進んだことから、平成27年1月9日付第2回計画変更により、同事業を削除した。			特になし					
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし						
	変更	平成23年度～平成27年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値					
	指標1	市街地に位置する公共施設を結ぶ道路網の整備率	%	87.5	H19	100	H27	100	○	あり なし	若宮駅前線の道路整備により市街地循環道路のミッシングリンクが解消され、市街地の公共施設、商店街、生活拠点を円滑に結び付ける交通ネットワークが形成された。	
	指標2	大町運動公園施設の利用者数	人/年	162,000	H21	175,000	H27	164,000	△	あり なし	大町運動公園に芝生の多目的グラウンドを新設したことにより、近年のスポーツ種目の多様化への対応が図られ、新たな市民の健康づくりや交流の場が拡大した。	平成29年4月
指標3	公的住宅の入居率	%	90.3	H21	90.3	H27	91.4	○	あり なし	市営大原団地のエレベーター設置による住環境の改善やリターン者の受け入れを踏まえた雇用促進住宅の購入により、定住促進に向けた公的住宅が整備され、当初の入居率が維持された。	平成29年4月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 若宮駅前線の整備は、同時期にオープンした沿線商業複合施設(フレスポ大町)へのアクセス向上とともに、周辺の生活道路の交通渋滞を未然に防止した。 大町運動公園に整備した多目的グラウンドは、陸上競技場やサッカー場に隣接していることから大会時のウォーミングアップエリアとして活用され、競技者の利便性が向上した。 雇用促進住宅の購入は、市営住宅の収入超過者に対し新たな居住先として多様な住環境の提供を可能にしたほか、災害罹災者を対象とした公的住宅の一時利用において住戸形式の選択の幅が広がり、入居者の利便性が向上した。 											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング		-	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-				
			-	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-				
			-	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
住民参加プロセス		-	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
		-	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
		-	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
持続的なまちづくり体制の構築		-	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
		-	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
		-	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

様式2-2 地区の概要

大町中央地区(長野県大町市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 快適な生活基盤整備を図り、安心・安全なまちづくりの創造	市街地に位置する公共施設を結ぶ道路網の整備率	単位: % 87.5 H19	100 H27	100 H27
目標1 : 暮らしを支える生活道路の整備を行うことにより、歩行者の安全確保並びに交通ネットワークが形成されその効果を発揮する。	大町運動公園核施設の利用者数	単位: 人/年 162,000 H21	175,000 H27	164,000 H27
目標2 : スポーツ施設整備により、元気あふれる市民スポーツの振興を図る。	公的住宅の入居率	単位: % 90.3 H21	90.3 H27	91.4 H27
目標3 : 公的住宅の施設整備による、安心して暮らせる居住環境の形成。				



まちの課題の変化

○若宮駅前線整備により、市街地循環道路のミッシングリンクが解消したほか、歩いて暮らせるまちづくりを支える安全な歩行空間が拡充されたことや、市民バスの運行経路に沿線商業複合施設(フレスポ大町)を編入し公共交通の利便性が向上したことから、JR信濃大町駅周辺を中心的拠点とした集約型都市構造の基盤整備が進んだ。
 ○大町運動公園の多目的グラウンド新設により、誰もが気軽に参加できるニュースポーツの導入・普及が進んだ。
 ○市営大原団地の住環境改善(エレベーター設置)や雇用促進住宅の購入等の定住促進施策を踏まえ、老朽化した市営住宅(上一団地・借馬団地)の整備計画への取り組みが進んだ。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

○集約型都市構造の実現に向け、中心市街地活性化基本計画に基づくJR信濃大町駅周辺の街並み環境の見直しや、信濃大町ブランド戦略に基づく駅前広場公園親水スポット整備の検討のほか、若宮駅前線沿線の大規模工場跡地や集団農地の都市的土地利用を促進する施策の検討を行う。
 ○生涯スポーツの推進に向け、ニュースポーツに係る各種教室の充実や定期的に活動する団体の育成、支援を進める。
 ○公的住宅の効率的な管理・運営手法の構築のため、建替えが計画されている市営住宅(上一団地及び借馬団地)については、併設する県営住宅との一元化に向け、入居者及び関係機関と具体的な整備手法等について協議を進める。